

日本 TCS、JAL デジタルと協業体制の深化に向けた 戦略パートナーシップを締結

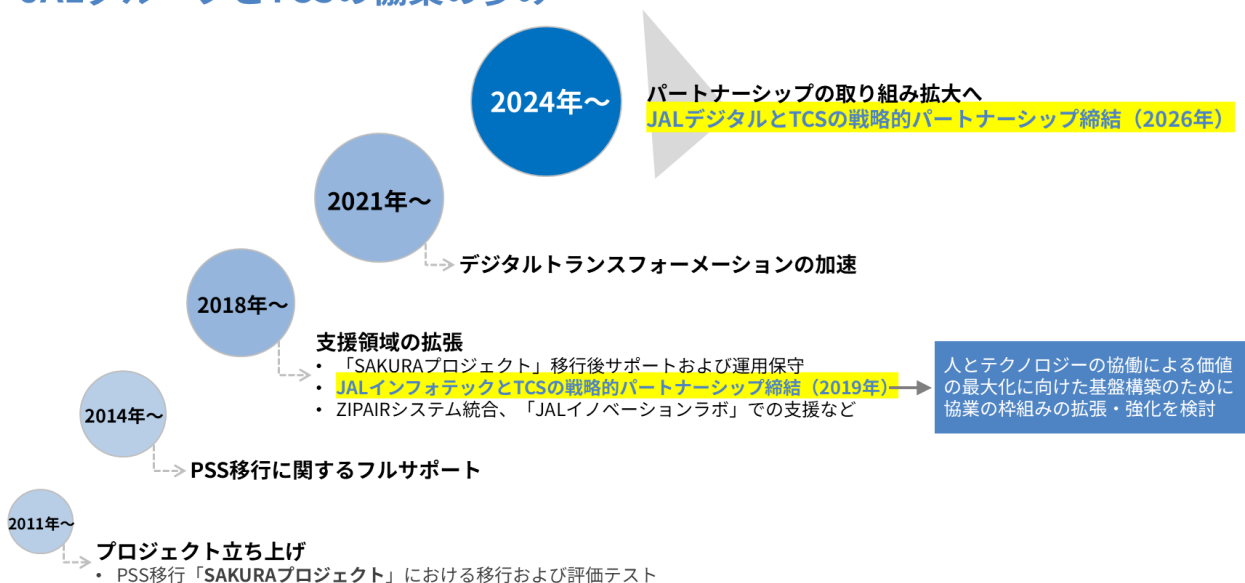
～AI・グローバル規模のスケールメリットの活用とグローバル知見の融合により、
生産性の向上と次世代デジタル人材の育成を推進～

2026年5月11日 | 日本タタ・コンサルタンシー・サービスズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:サティシュ・ティアガラジャン、以下、日本 TCS)は、JAL デジタル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:鈴木啓介、以下、JALDX)と JAL グループのデジタルトランスフォーメーション(DX)推進をさらに加速させるため、包括的な戦略的パートナーシップ契約(SPA)を締結いたしました。

■ 背景と目的

JALDX と日本 TCS は、2019 年に戦略パートナーシップを締結して以来、旅客サービスシステム(PSS)の刷新(SAKURA プロジェクト)や ZIPAIR システム統合支援など、多岐にわたる重要なプロジェクトにおいて、協業を深めてまいりました。これまでの都度発注型の契約から、包括的かつ長期的な協力関係(SPA)へと移行することで、全体のボリュームメリットを最大限に引き出し、発注手続きの効率化とリードタイムの大幅な短縮を実現します。本契約を通じて、安定的な体制構築、グローバル知見の導入、そして継続的な生産性向上を目指します。これにより JAL グループにおける新たな旅客サービスの価値創出や、変化する航空需要への迅速な対応能力の向上に貢献することを目的としています。

JALグループとTCSの協業の歩み



■ 本パートナーシップにおける主な取り組み

1. 優先的かつ安定的なデジタル応需体制の確保

開発、PM/PMO、維持管理領域において優先的かつ安定的な応需体制(領域リーダーのリソース)を確保します。これにより、最適な人材のアサインが可能となり、デリバリー期間の大幅な短縮と品質のさらなる向上が見込めます。

2. AI 活用とグローバル規模のスケールメリットを活かした生産性向上

日本 TCS の強みである「AI 活用をベースとしたグローバル規模のスケールメリット」を最大限に活用し、開発実施・テスト・維持管理工程におけるプロセスの最大効率化を図ります。両社の協働により、開発維持管理領域において生産性向上を目標とします。

3. 高度 IT 人材の出自によるグローバル知見の導入

日本 TCS が有する Amadeus などのグローバル標準ソリューションや海外エアラインでの豊富な実績・知見を JALDX に直接還元するため、日本 TCS からコンサルタント、プロジェクトマネージャー (PM)、アーキテクトの高度人材を JALDX に対して派遣します。

4. 次世代 DX 人材の育成支援

JALDX 社員 (主に育成期社員) の開発スキル向上とグローバルマインドの醸成を目的に、プロジェクト内での実践的な育成プログラムを実施します。本プログラムには、インド滞在を含む育成支援が含まれており、現場レベルでの相互理解と海外経験の機会を創出します。

パートナーシップ深化に向けた取り組み

パートナーシップ深化の目的

TCSが擁するグローバルの知見と豊富な人材を活用し、
JALデジタルによる価値創造と事業拡大を支援



今回の戦略パートナーシップに基づく取り組み

- 1 支援体制強化
優秀な人材の早期確保と長期アサインにより生産性向上に向けた継続的改善に寄与
- 2 TCS社員のJALデジタルへの出自
TCSのコンサルタント、プロジェクトマネージャー、アーキテクトがJALデジタルに出自。JALデジタルの要望やリソース需要を先読みし、パートナーシップ深化に向けた活動に寄与
- 3 JALデジタル社員育成プログラムの推進
JALデジタルのエンジニアに向けて、プロジェクト内でインドでのOJTを含め人材育成 (スキル向上) に寄与

■ 今後の展望

JALDX と日本 TCS は、本戦略的パートナーシップを通じて強固な協業体制を築き、JAL グループにおける新たな旅客サービスの価値創出や、変化する航空需要への迅速な対応能力の向上に貢献してまいります。



JAL デジタル 代表取締役社長の鈴木啓介氏は次のように述べています。

「刻々と変化するお客さまのニーズや社会の要請に、より迅速にお応えしていくためには、IT システム開発における機動力とスピードが不可欠です。本戦略パートナーシップを通じて、日本 TCS の強力なプロジェクト体制によるご支援を賜ることで、開発リードタイムの短縮と変化への対応能力をさらに高めてまいります。JAL グループが培ってきた航空事業の知見と、日本 TCS がグローバルで培われた最高水準の技術力を融合させ、新たな価値の創出をこれまで以上に迅速化することで、お客さまの期待を超えるサービス体験の提供を続けてまいります」

日本 TCS 代表取締役社長のサティシュ・ティアガラジャン (Satish Thiagarajan) は次のように述べています。

「JAL デジタルとの長年にわたる協業関係を、このたび包括的かつ戦略的なパートナーシップへと発展させられることを大変意義深く感じています。航空業界は現在、グローバルな競争環境の変化とデジタル技術による変革の加速という大きな転換点を迎えています。こうした中で、日本を代表するエアライングループの DX を中核から支える JAL デジタルと、未来志向の変革に共に取り組めることを誇りに思います。本パートナーシップでは、TCS がグローバルで培ってきた AI 利活用の取り組み、標準化されたデリバリーモデル、そして世界各国の航空会社での実績と知見を結集し、スピードと品質を両立した価値提供を実現してまいります。加えて、両社にとって将来への重要な投資として、高度な専門人材の交流と育成を推進します。当社人材の出向や、JAL デジタル社員の弊社インド拠点でのプロジェクト参画を通じて、次世代のデジタルリーダーの育成を促進します。日本 TCS のビジョンである「Gateway to Globalization」を体現し、テクノロジーの力で JAL グループの持続的な成長とイノベーションを支え、世界に誇れる航空サービスの創出に貢献してまいります」

以上

JAL デジタルについて

JAL デジタルは、日本航空株式会社(所在地:東京都品川区、以下「JAL」)のデジタルテクノロジー本部と株式会社 JAL インフォテック(所在地:東京都港区)が統合し、2025 年 4 月 1 日に始動した JAL グループのデジタル中核会社です。JAL デジタルは、高い安全性と信頼性が求められる航空運送事業を支えるとともに、お客さまに安心かつ快適なサービスをお届けすることが私たちの存在意義と考えております。全事業の基盤である IT システムの安定稼働を堅持しつつ、DX(デジタルトランスフォーメーション)をさらに加速させ、持続的な成長の実現を目指します。

JAL デジタルの詳細については、www.jaldx.co.jp/をご覧ください。

日本タタ・コンサルタンシー・サービスズ(日本 TCS)について

日本 TCS は、IT とデジタル技術を活用し、ビジネス、テクノロジー、エンジニアリングの分野にまたがるサービス・ソリューションを提供しています。日本の商慣習や日本企業の強みへの深い理解に基づいた日本 TCS 独自の「日本企業専用デリバリーモデル (Japan-centric Delivery Model: JDM)」を構築し、タタコンサルタンシーサービスズ (TCS) の確かな知見と実績をもって日本のお客さまのビジネスを支援します。日本の各拠点およびインドの「日本企業専用デリバリーセンター (Japan-centric Delivery Center: JDC)」では、総勢 1 万人のプロフェッショナル人材がシームレスに協働し、柔軟なスケラビリティと豊富なケイパビリティをもってさまざまなビジネス課題の解決に取り組んでいます。「Gateway to Globalization (グローバル競争力を獲得するためのゲートウェイ)」、また「Catalyst for Technology-led Business Innovation (テクノロジーを駆使し、ビジネス変革を触発するカタリスト)」となることをビジョンに掲げ、ビジネスの成長と変革を通じたお客さまのパーパスの実現に尽力します。

日本 TCS の詳細については、www.tcs.com/jp-ja/をご覧ください。